

1. 科目名 (単位数)	教師論 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS1102
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義・グループ討議・ワークシート・レポート・試験	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	国際化・情報化・科学技術の発展・環境問題など変化の激しい今日の社会において、学校教育の場においても様々な課題が生じている。この課題を解決するためには、学校教育の主たる担い手である教員の役割や責任が今まで以上に大きくなっている。これからの教員は、教科に関する知識を単に教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもを育成することが求められる。本科目では、教職とは何か、これからの教員に求められる資質・能力とは何か、教員の仕事と役割とはどのようなものか、教員の権利や義務 (サービス・研修・身分保障などを含む。) は、法律上、どのように規定されているのかなど教職を志す学生があらかじめ教職について知っておく必要がある事項を考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職観の変遷について理解するとともに、教師に求められる資質・能力について考察することができるようになる。</li> <li>2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに、現在の教員養成の現状について考察することができるようになる。</li> <li>3. 教員の役割と仕事について理解するとともに、現在、教員に期待されている役割について考察することができるようになる。</li> <li>4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができるようになる。</li> <li>5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>予習課題や探求的な課題に積極的に取り組み、主体的かつ対話型の学習によって理解を深め、目指す教師像を明確に描くことができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、授業終了前に授業内容についてのリアクションペーパーを提出する。</li> <li>2. 期末レポート「教師論から学んだことについて述べよ。」(1,000字程度)</li> <li>3. 欠席 (公休でも同様) した場合、教科書及び資料を熟読し、200字程度のコメントを次回までに提出する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】大野裕己・露口健司編著『日本の教職論』一般財団法人 放送大学教育振興会、2022</p> <p>【教材】必要に応じて授業内でワークシートを配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職観の変遷について理解するとともに教師に求められる資質・能力について考察することができたか。</li> <li>2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに教員養成の現状について考察することができたか。</li> <li>3. 教員の役割と仕事について理解し、教員に期待されている役割について考察することができたか。</li> <li>4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができたか。</li> <li>5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題ワークシート、課題レポート、期末試験、期末レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加 総合点の40%</li> <li>2. 課題ワークシート・課題レポート 総合点の30%</li> <li>3. 期末試験または期末レポート 総合点の30%</li> </ol> <p>また、大学の規定に定められている3/4以上の出席が成績付与の条件となることとした。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、明確な目的を定めて授業に臨むこと。</li> <li>2. グループ活動に積極的に参加すること。</li> <li>3. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問すること。</li> <li>4. レポートや課題 (ワークシート等) の提出期限を守ること。</li> <li>5. 返却された記録 (リアクションペーパー等) を活用する等、トータルに学び習得すること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 教員養成・教員採用における「資質能力」の考え方 (第1章) —「教師」とは、どのような存在か—	事前学習	第1章 教員養成・教員採用における「資質能力」の考え方を読み、自己の教師像を思い描く。
		事後学習	教師とはどのような存在か考え、自己の教師像を描く。
第2回	「学び続ける教員」を具現化する教員養成指標と研修体系 (第2章) —教師は、何のために学び続けるのか—	事前学習	教科書「第2章」を読み、「学び続ける教員」のあり方を考える。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第3回	教師の成長と教員評価 (第3章) —教員の評価制度や教員評価から求められる教員の資質能力をまとめる—	事前学習	教科書「第3章」を読み、教員の成長に関わる教員評価について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第4回	教員の職務・仕事とカリキュラム・マネジメント (第4章) —教員の職務と仕事の特徴を理解する—	事前学習	教科書「第4章」を読み、教員の職務とカリキュラム・マネジメントのかかわりを考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第5回	学習指導・生徒指導・学級経営の展開 (第5章) —教員の主要な職務を認識する—	事前学習	教科書「第5章」を読み、教職に関わる課題をもつ。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。

第6回	教員の勤務実態と「学校における働き方改革」(第6章) —教員の長時間勤務の原因と解決策—	事前学習	教科書「第6章」を読み、教員の勤務実践について調べる。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第7回	変化し続ける人生と職務を“個人と職業”の両面から考える(第7章) —教員がかかえる課題と克服方法—	事前学習	教科書「第7章」を読み、教員がかかえる問題について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第8回	校内組織と教員の関わり(第8章) —学校の組織と教員の関わり方—	事前学習	教科書「第8章」を読み、校内組織と教員の関わりについて調べる。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第9回	チーム学校における他職種専門職との協働(第9章) —学校での他職種との協働がもたらすもの—	事前学習	教科書「第9章」を読み、他職種との協働について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第10回	保護者との信頼構築(第10章) —保護者との信頼関係を築くポイント—	事前学習	教科書「第10章」を読み、保護者との関係づくりについて考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第11回	保護者・地域と連携・協働する教員(第11章) —教員ができる保護者・地域との連携—	事前学習	教科書「第11章」を読み、保護者・地域と関わる教師のあり方について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第12回	多様なタイプの教職員で学校教育を担う(第12章) —教職の特性から描く教師像—	事前学習	教科書「第12章」を読み、教職の特性について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第13回	「専門職業人」としての教員、「組織人・教育公務員」としての教員(第13章) —専門職と公務員双方の立場の理解—	事前学習	教科書「第13章」を読み、専門職及び公務員としての教員のあり方を考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第14回	教職の魅力化—ウェルビーイングへの着目(第14章) —教職の魅力を高める手立て—	事前学習	教科書「第14章」を読み、教職の魅力について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第15回	75歳現役社会における教職キャリア論(第15章) —近未来の教職50年という生き方—	事前学習	教科書「第15章」を読み、教職キャリアについて考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	これまでの15回の授業内容について整理し、まとめることができる。